



Photo: Satoru Kato

第36回 TOUR DE OKINAWA2024 大会 大会報告書

ツール・ド・おきなわ実行委員会
TOUR DE OKINAWA Executive Committee
TEL:0980-54-3174
Mail:info@tour-de-okinawa.jp

ツール・ド・おきなわとは？

「ツール・ド・おきなわ」は、毎年11月に沖縄県名護市を中心に沖縄本島北部地域（通称：やんばる）で2日間にわたり、1989年から開催されているサイクルイベントです。UCI（国際自転車競技連合）公認の男子チャンピオンレースをはじめ、市民レーサーが参加出来る市民レース、沖縄の風光明媚な景色を楽しむサイクリングなどの「市民サイクルスポーツ大会」、子ども達を主役にした一輪車や三輪車の関連イベントなど、自転車の祭典として、開催しています。



ツール・ド・おきなわの目的

- サイクルスポーツの普及・振興
- 沖縄県における観光・文化の振興等の地域づくり
- 健康・体力の増進に寄与すること
- 国際交流・協力等の公益の増進に寄与すること



Photo : Makoto AYANO

大会名称 第36回 ツール・ド・おきなわ2024

開催日時 令和6年11月9日（土）・10（日）

参加者数 3,081名

主催 NPO法人ツール・ド・おきなわ協会・北部広域市町村圏事務組合

特別協力 沖縄タイムス社、琉球放送、NHK沖縄放送局、北部地区医師会

後援 自転車活用推進本部・内閣府・経済産業省・国土交通省・スポーツ庁・
沖縄県・（公財）日本自転車競技連盟・（公財）日本サイクリング協会・（公財）JKA 他36団体

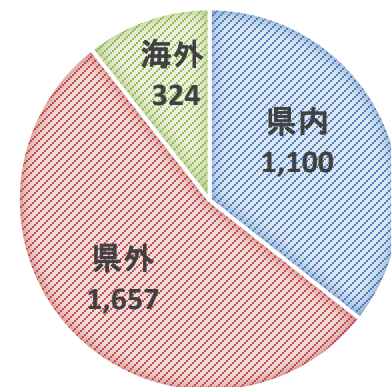
ツール・ド・おきなわ2024 種目一覧 (全27種目)



【ツール・ド・おきなわ2024大会】		県内	県外	海外	合計	昨総数
国際ロードレース大会種目						
1	男子チャンピオンレース	5	36	44	85	80
2	女子国際ロードレース100km	4	43	15	62	61
国際ロードレース大会小計		9	79	59	147	141
市民サイクリング大会種目						
3	市民レース200km	30	187	4	221	237
4	市民レース140km オープン	14	169	14	197	215
5	市民レース140km マスターズ	4	130	6	140	181
6	市民レース100km オープン	56	154	11	221	214
7	市民レース100km マスターズ	38	176	6	220	218
8	市民レース50km オープン	66	69	5	140	159
9	市民レース50km フォーティー	46	66	3	115	129
10	市民レース50km フィフティー	51	129	8	188	188
11	市民レース50km オーバー60	47	109	0	156	153
12	チャレンジレース200km	11	61	7	79	0
13	チャレンジレース50km オープン	32	7	1	40	63
14	チャレンジレース50km フォーティー	12	14	3	29	31
15	チャレンジレース50km オーバー50	58	27	1	86	96
16	市民レディースレース50km	11	67	8	86	105
17	中学生レース50km	20	12	2	34	38
18	小学生レース10km	21	3	0	24	27
市民ロードレース部門小計		517	1,380	79	1,976	2,054
サイクリング部門						
19	沖縄本島一周サイクリング	7	36	70	113	0
20	やんばるセンチュリーライド	60	77	93	230	302
21	ワルミ大橋&古宇利大橋サイクリング	48	14	2	64	0
22	チャレンジサイクリング	85	40	21	146	223
23	伊平屋島サイクリング	53	12	0	65	47
24	伊江島ファミリーサイクリング	20	14	0	34	105
25	バリアフリーサイクリング	50	0	0	50	50
サイクリング部門小計		323	193	186	702	727
関連イベント						
26	一輪車大会	151	5	0	156	154
27	三輪車大会	100	0	0	100	100
関連イベント小計		251	5	0	256	254
2024大会参加者 合計		1,100	1,657	324	3,081	3,176

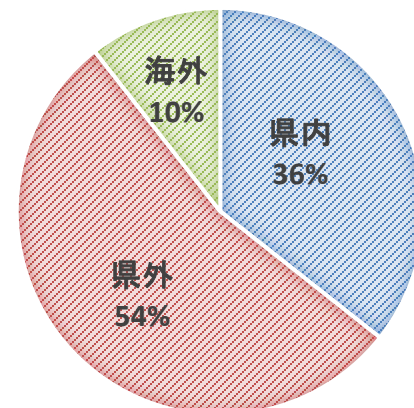
参加者内訳:人

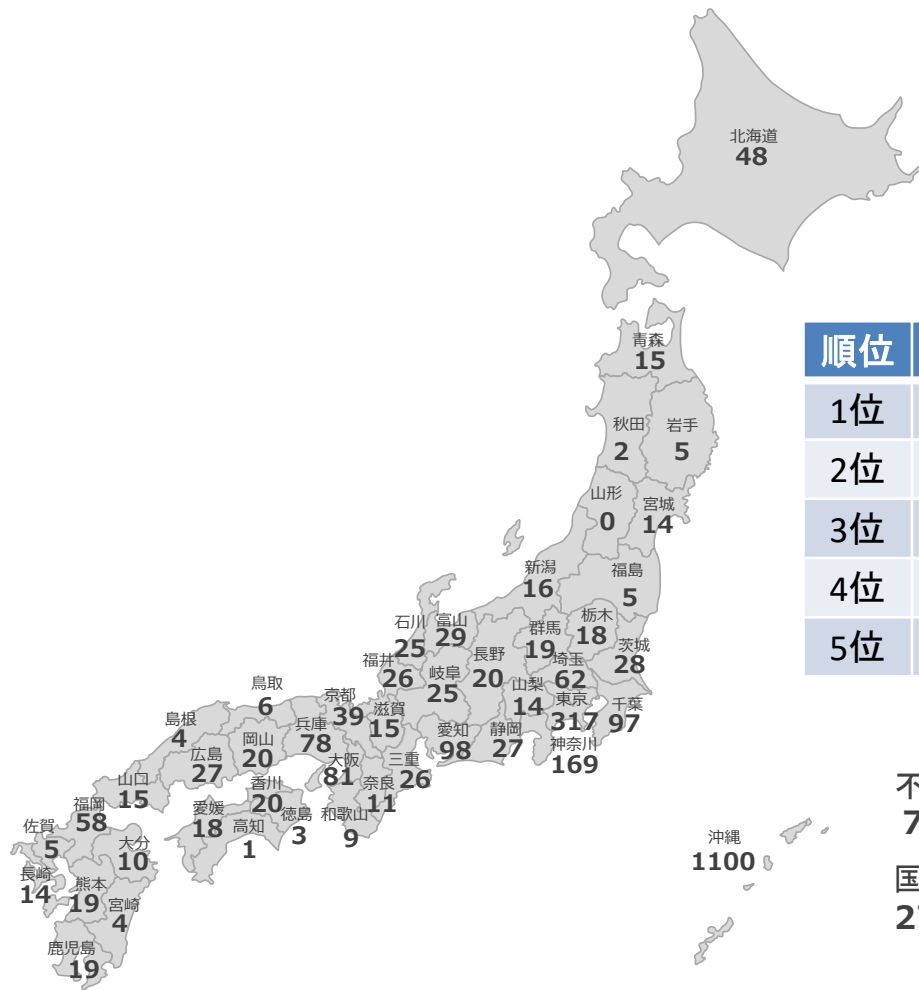
■ 県内 ■ 県外 ■ 海外



割合:%

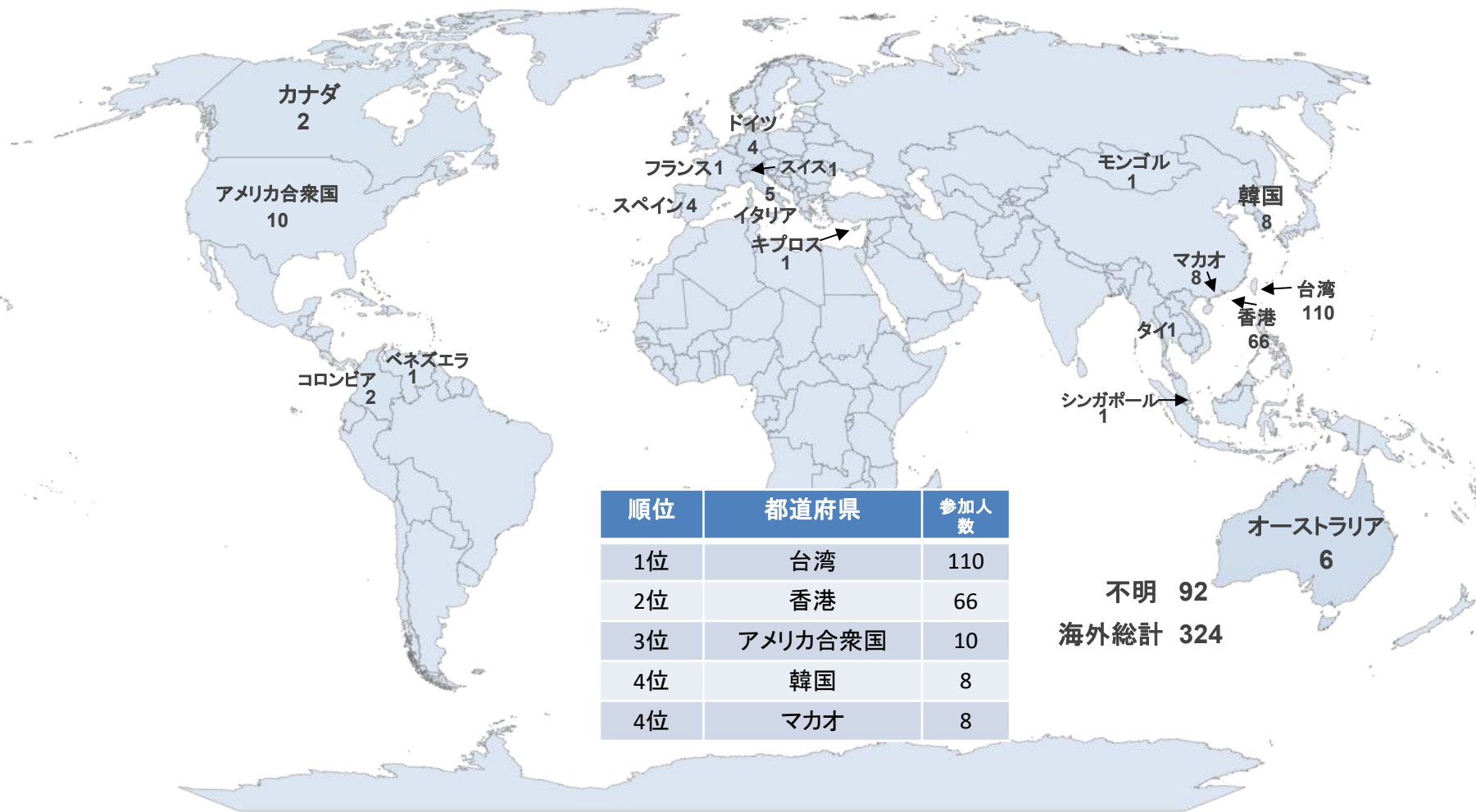
■ 県内 ■ 県外 ■ 海外





順位	都道府県	参加人数
1位	沖縄県	1,100
2位	東京都	317
3位	神奈川県	169
4位	愛知県	98
5位	千葉県	97

不明
76
国内総数
2757



Friday, November 8		
13:00~17:00	市民レース部門及びサイクリング部門 ※サイクリング部門の沖縄本島一周サイクリング、やんばるセンチュリーライド、ワルミ大橋&古宇利大橋サイクリング、チャレンジサイクリング、伊平屋島サイクリング、伊江島ファミリーサイクリングは、11月8日のみの受付となります。	選手受付 (ゼッケン配布)
18:00~20:00	時間外受付 市民レース部門及びサイクリング部門 ※事前登録者のみ	選手受付 (ゼッケン配布)

Sunday, November 10		
06:45~08:00	男子チャンピオンレース 市民レース200km チャレンジレース200km 市民レース50km系 チャレンジレース50km系 バリアフリーサイクリング	スタート
08:14~09:33	50km系全レース	フィニッシュ
10:00~	【50km系 表彰式】	名護市 屋内運動場
09:00~12:00	GO!GO!三輪車レース	
⑨ 09:05頃	小学生レース (名護市仲尾)	スタート
⑨ 09:22~09:30	市民レース140km オープン (国頭村道の駅) マスターズ (国頭村道の駅)	スタート
⑨ 09:40~10:14	女子国際ロードレース (国頭村奥) 市民レース100km オープン (国頭村奥) マスターズ (国頭村奥)	スタート
11:30~14:30	男子チャンピオンレース 以下、各レース	フィニッシュ
15:00~	沖縄本島一周サイクリング 伊平屋島サイクリング	フィニッシュ
15:00~17:00	【表彰式・閉会式】 男子チャンピオンレース200km~順次	名護市 屋内運動場
※ 大会日程は予告なく変更になる場合があります。 ⑨ レース展開により、スタート時刻が変更される場合があります。		

Saturday, November 9		
06:50~08:00	伊江島ファミリーサイクリング 沖縄本島一周サイクリング やんばるセンチュリーライド ワルミ大橋&古宇利大橋サイクリング チャレンジサイクリング 伊平屋島サイクリング	スタート
08:00~17:00	一輪車大会	
09:00~15:00	各レース部門 (日曜日スタート種目)	選手受付 (ゼッケン配布)
13:30~16:00	シャトルバス出発 (国頭行)	
14:00~18:00	ワルミ大橋&古宇利大橋サイクリング チャレンジサイクリング 伊江島ファミリーサイクリング やんばるセンチュリーライド	フィニッシュ
17:00~20:00	時間外受付 ※事前登録者のみ	選手受付 (ゼッケン配布)

豪雨災害による開催中止

11月9日（土）・10日（日）第36回ツール・ド・おきなわ2024大会は、沖縄県北部を襲った大雨災害の影響で、1日目の全種目と2日目のロードレース全種目、三輪車大会が中止となった。しかし、沖縄本島一周サイクリングと伊平屋島サイクリングの2日目は、スタート地点とコースが異なるため予定通り実施された。



時系列まとめ

【11月9日（土）】

0:30：沖縄県が「線状降水帯による顕著な大雨に関する情報」および「記録的短時間大雨情報」を発表。

1:00：開催直前に北部地区で大雨警報・避難指示発令を確認。

5:00：開催判断会議 大雨により本島北部に大雨洪水警報発令（大宜味村・国頭村・東村・名護市で避難指示）。

6:00：全種目中止を発表。ただし、2日間サイクリング種目の2日目開催は天候次第と発表。

9:00：伊平屋島サイクリング参加者を大会2日目開催に向け運天港まで送迎しフェリーで移動開始。

10:00：沖縄本島一周サイクリング参加者を大会2日目開催に向け大会輸送バスで金武町へ送迎。

10:00：レース部門の開催判断会議を実施。

北部広域における大雨によるコース上の土砂崩れなどにより、200km、140km、100kmレースの開催中止を決定。
50kmコースでの代替レース開催を決定し、午後の各種会議で説明。

【11月10日（日）】

5:00：大雨洪水警報および避難指示継続中。

5:50：コースチェック開始。

6:45：スタート時刻に小康状態となるも降雨継続。

6:53：名護市呉我で冠水確認、運営委員会がレースキャンセルを決定。

7:00：大会実行委員長が選手へキャンセルを報告。

実施：別地域がコースとなる伊平屋島サイクリング、沖縄本島一周サイクリングの2日目を開催。

11:00：屋内運動場でふれあいパーティー（豚汁等の提供）を開始。

16:30：サイクリング部門全参加者のフィニッシュを確認しサイクリング部門を終了。



Photo : Makoto AYANO

1. 大会中止の影響と経済効果

今大会には国内外から3,000名以上の参加があり、地域特産物のPRや物販の活性化、周辺施設の利用促進など、地域経済に大きな効果をもたらす予定だった。しかし、大会の一部中止により、想定していた経済効果が一部限定的なものとなった。



Photo : Makoto AYANO

2. 地域活動と災害対応

大会開催準備においては、警察や北部12市町村と協力し、コースの安全管理や道路の補修・清掃などを進めてきた。今回の災害時にも迅速な判断で中止を決定し、代替サービスを提供するなど、地域協力の重要性を改めて示す形となった。この取り組みは国内外に向けて地域の結束と対応力を発信する契機ともなった。（※大会にて使用予定の飲料等を豪雨被災地へ提供）



3. 大会参加料返金方針について

大会中止の判断は災害発生直後であり、発注済みの物品や準備に多くのリソースが投じられていたことから、参加料金の返金を行わない方針を採用した。この決定は大会参加規約に基づいており、今後の運営の持続性を確保するための判断とする。

4. 医療救護体制の対応

北部地区医師会の全面協力を得て、大会期間中の医療救護体制を構築。災害発生後も柔軟な体制変更を実施し、参加者の安全確保に努めた。これにより、地域医療機関への負担軽減にもつながる対応が可能となった。

今回の大雨災害を受けた一連の対応は、今後の大会運営や地域防災における重要な知見となる。これらの記録を踏まえ、さらなる運営体制の向上を目指す。







日本最大級
サイクルスポーツの祭典



第37回
ツール・ド・おきなわ2025
～熱帯の花となれ風となれ～

11月8日(土) ▶ 9日(日)

※開催日程が変更になる場合がございますので、予めご了承ください。